

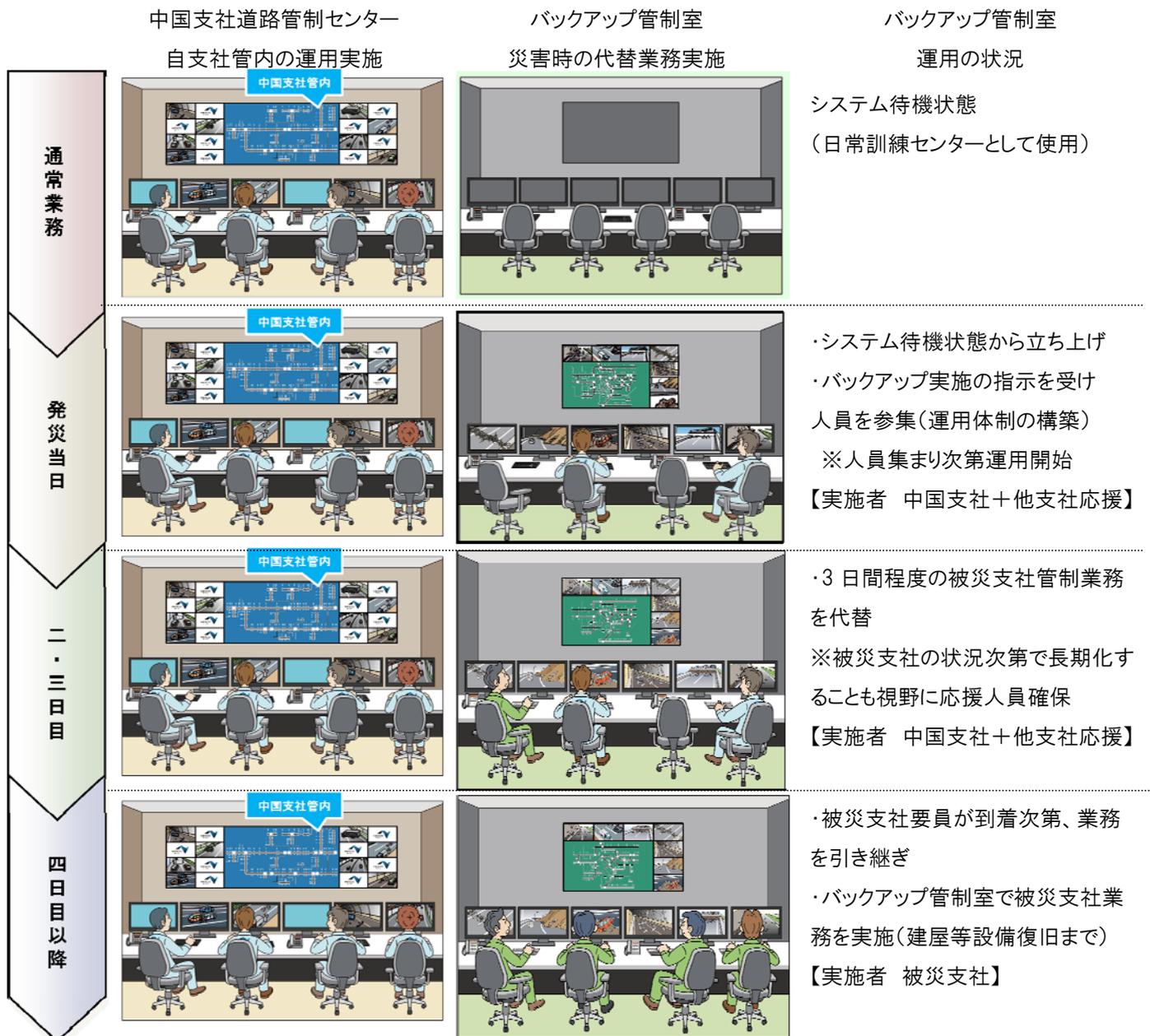
【参考資料】

1. バックアップ管制機能の運用(イメージ)・運用開始までの動き(流れ)

○参考図 1:バックアップ管制機能の運用(イメージ) 中国支社で関西支社の状況を把握



○参考図 2:バックアップ管制機能 運用開始までの動き(流れ)



2. 中国支社に重要拠点としてバックアップ管制機能を持たせた理由

○地理的特徴を活かした安全性・人員の確保

- ・事業を継続するには、長期間(最低数日レベル)の代替業務をこなせる状況が必要
- ・海溝型地震・台風の発生を想定した場合、他地域と比較して影響が比較的少ないと考えられる場所
 - 耐震安全性、浸水対策を施した建屋建設でより高い安全性を確保
 - 震度 6 強～7 程度の地震でも損傷しない耐震安全性(官庁施設で最も厳しい水準)の確保
 - 近隣河川(太田川)の氾濫を想定し、新管制棟 1 階を周辺道路から比べ約 2m 嵩上げ

○中国地方は他の全ての支社の管轄地域(近畿・四国・九州地方)に隣接

- 業務従事者の応援派遣も比較的容易(必要人員の確保も可能)

【道路管制業務の概要】

- ・道路走行に必要な情報を 24 時間体制で把握
 - (高速道路における異常事態の有無、渋滞などの道路状況や積雪などの気象状況など)
 - 道路上にある情報板などを活用して高速道路をご利用されるお客さまに情報を提供
- ・事故など異常事態の発生時には各地の交通管理隊へ出動を指示
 - 必要に応じて消防車、救急車の出動要請、他の道路管理者、河川管理者などとも連携
 - 事態の早期解消のため努力
- ・高速道路上の非常電話や道路緊急ダイヤル(#9910)の対応(各支社道路管制センターに接続)
- ・各地方の管区警察局高速道路管理室とともに実施

【新たに採用した通信ネットワーク技術】

- ・SDN…Software-Defined Networking の略。ネットワーク機器をソフトウェアによって集中的に管理・制御し、通信ネットワークの論理的な構成や通信経路などを状況に応じて変更できる、ICTシステム高度化のための技術。
 - 例えば、目的地を入力すれば状況変化に応じて自動で最適なルート選択をするカーナビゲーションのような利便性をICTシステムで実現するものである。
- ・OpenFlow…SDN を実現する技術の一つ。ネットワークを制御する機能をコントローラに集約して管理する仕組み。膨大にある設備端末の宛先アドレス(IPアドレス)を変更する作業が不要(迅速にバックアップ管制室への接続が可能)。道路会社として NEXCO 西日本が初めて本格採用(当社調べ)